

生涯自宅？
それとも施設？

人生100年時代の
「ハイシニアライフ」

住まいのこれから 準備BOOK

りそな銀行では質の高い高齢期の生活をハイシニアライフとして
さまざまなお相談をお受けしています



2ステップで簡単！

老後の住まい計画術

ステップ1 必要なお金を把握しよう！

在宅でも施設でも、毎月の生活費は必要です。高齢者施設も介護型、自立型などタイプによってかかる費用は異なります。自身が希望する生活にはどれだけの資金が必要か計算し、資産と照らし合わせてみましょう。

ステップ2 シニア向け住宅を見に行こう！

「できる限り自宅で」と考えている人も、いざというときに備えて、情報を入手しておくことが大切。有料老人ホームでは随時見学会が開催されているので、気軽に見学できます。できれば、複数の施設を見学して比較しましょう。

よくある3プラン 注意点

1 できる限り自宅派

住み慣れた我が家で最期まで、と思っても、介護保険サービスだけでは介護が不足することも。事前に希望する施設を検討しておく、家族の支援が困難になったときも安心です。

2 利便性で住み替え派

利便性の高いマンションやサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)に住み替える場合、介護度によっては再度住み替えが必要になることも。在宅介護や施設への転居も見据えた計画が大切です。

3 元気なうちから施設派

サ高住や有料老人ホームでは、緊急時対応や安否確認、生活相談も受けられ、元気なうちから安心して暮らせます。ただし、医療依存度に応じて退去が必要な施設もあるのでしっかり確認を。



い駅近くのマンションに住み替えるのもひとつの方法です。介護が必要になってから住み替えるなら、介護付有料老人ホームが代表的な存在です。「最近が高齢者施設も多種多様になり、終の棲家」と考えず、状況に合わせて住み替えを繰り返してもいい」と畠中さん。ご自身は自立型の高齢者施設に元気なうちから入居し、体調に合わせて介護付有

料老人ホームに住み替えるという2回の住み替えを計画しています。

「親の世代とは異なり、高齢期の住まいの選択肢の幅は広がっています。そのため、自ら見学に向き、最新の情報を収集することが大切。特に年齢を重ねてからの施設探しは体力的にも大変なので、元気なうちから見学しておくことをおすすめします」

在宅介護が難しくなってきたら施設入居を検討すると、施設探しの担い手が家族になるだけでなく、入居させた「入居させられた」という罪悪感や不満が家族やご本人に残ります。「元気なうちに準備をしておけば、自身も家族も安心できますよ」(畠中さん)



畠中雅子さん

はたなかまさこ
フリーライターを経て1992年よりファイナンシャルプランナーに。雑誌、新聞、ウェブなどで連載をもつほか、金融機関や公的機関へのアドバイザー業務を行い、講演会でも活躍。高齢者施設への住み替え資金のアドバイスを行う「高齢期のお金を考える会」主宰。『70歳からの人生を豊かにするお金の新常識』(高橋書店)など著書・監修書は70冊を超える。

これからの住まいと介護、 いつたいいくらかかる？

なるべく最期まで在宅の場合

住み慣れた家で暮らすのは、居心地の良いものです。しかし安心して暮らし続けるには、家の老朽化に備える、体調に合わせて段差をなくすなど、リフォームが必要になることもあります。そして介護が必要になれば、ヘルパーや訪問看護など介護保険サービスを利用しながら生活することになります。介護保険サービスの自己負担額は、収入によって1〜3割で、給付には介護度ごとに上限があります。「要介護3になると在宅介護

を続けるか、施設に入居するかを悩む傾向にあります。介護度が進めばそれだけ手厚い介護が必要になり、介護保険内のサービスのサービスだけでは賄えなことも出てきます」と畠中さん。
在宅介護では、介護度があるほど、介護保険内のサービスでは賄いきれなくなり、自己負担が増えてしまうことに。下記費用例のように要介護5では10万円を超える高額な費用負担が必要となることも多いのです。

リフォーム費用例

手すりの取り付け	約5〜20万円
キッチンリフォーム	約80〜150万円
バスルームリフォーム	約80〜150万円
トイレリフォーム	約20〜50万円
外壁の塗装	約100〜200万円
防蟻処理	約15〜20万円

※(株)長谷工リフォーム調べ

介護度が進むと意外とかかる？

在宅介護時の介護費用

いざ介護が必要になったとき、費用はいくらかかるのか？
要介護1〜5のおおよその費用感を紹介します。

1

要介護

食事や排せつはほとんどできるが、立ち上がりや歩行などが不安定で、介助が必要な場合がある。

介護費用例
1万7000円/月

〈公的介護保険サービス〉デイサービス6時間(入浴介助付き) /日(週5回)

2

要介護

食事や入浴、排せつで介助を必要とする場合がある。立ち上がりや歩行などで支えが必要。

介護費用例
2万3000円/月

〈公的介護保険サービス〉身体介護1時間未満/日(週6回)、デイケア4時間/日(週3回)、福祉用具の貸与(車いす、介護用ベッド)

3

要介護

食事や排せつで一部介助、入浴や着替えで全面的な介助が必要。立ち上がりや片足立ちが一人できない。

介護費用例
7万8000円/月

〈公的介護保険サービス〉身体介護30分未満/日(朝6回、夕2回)、訪問介護1時間未満/日(週1回)、デイサービス6時間(入浴介助付き) /日(週2回)、福祉用具の貸与(車いす、介護用ベッド、床ずれ防止用具など)
〈上乗せサービス〉ショートステイ1泊/週

● 在宅介護費用総額

平均 **581万円**〜 (介護期間 平均5年1か月)

※令和3年度/生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」をもとに計算

住み替えの場合

自宅から住み替える場合、売却価格より安い物件に移ることで支出が抑えられます。マンションは賃貸物件としての資産価値も踏まえて検討するとよいでしょう。一方、施設の場合、費用は千差万別です。下記は主だった高齢者施設の費用例です。月々の支払いには家賃に相当する居住費のほか、食費、日常生活費などが含まれます。有料老人ホームは利用料に比例して施設環境やサービスが充実します。また、介護付ならその分厚い介護・看護が受けられます。一方で公的施設の特別養護老人ホームは、世帯収入や介護度により全国で利用料がほぼ定められています。原則、要介護3からしか利用できません。介護が付かないサービス付き高齢者向け住宅や住宅型有料老人ホームは、介護が必要になった後のことも検討しておく必要があります。

※費用や含まれる内容は施設により異なります。

施設ごとの費用例

● 住宅型有料老人ホーム

月々の料金 約15～20万円
※入居一時金として約300～5000万円必要。

介護サービスが含まれない有料老人ホームで、自立している方から介護度が軽度の方が主に入居しています。介護が必要な場合は在宅介護と同様に自身で契約して外部の介護保険サービスを利用するため、介護費用は利用状況により異なります。ホームによっては、建物内に介護事業者が入居していたり、重介護まで対応するところもあります。

● 特別養護老人ホーム

月々の料金 約7～25万円

介護保険で利用できる介護施設で、要介護3以上の方が入居対象です。介護度と資産額、世帯収入により利用料が決まるため有料老人ホームなどに比べて低価格だと思われがちですが、資産基準が導入されてからは、安い施設とは言い切れなくなっています。またエリアによっては待機者が多く、緊急度の高い方の入居が優先されます。

● 介護付有料老人ホーム

月々の料金 約20～30万円
※入居一時金として約500～7000万円必要。

要介護認定を受けた方が入居できる「介護専用型」、元気なうちから入居できる「入居時自立型」などいろいろなタイプがあります。費用は高めですが、介護費用は介護度に応じて定額で、常駐スタッフによる手厚い介護が受けられます。入居時自立型の場合、元気な方向けの一般居室と、介護が必要な方向けの介護専用居室に分かれている施設が多くなります。

● サービス付き高齢者向け住宅

月々の料金 一般住宅の家賃相場+管理費など(約3～9万円)
※別途、敷金や食費などの生活費がかかります。

バリアフリー構造のシニア向け賃貸住宅です。安否確認や生活相談などのサービスが付き、施設により食事の提供なども行います。介護施設ではなく賃貸住宅のため、介護が必要な場合は自身で介護保険サービスを利用し、介護が高くなると退去しなければならない施設もあります。



5

要介護

介護なしで日常生活を営むことはほぼ不可能。意思疎通が困難な場合が多い。

介護費用例

10万9000円/月

〈公的介護保険サービス〉身体介護1時間未満(朝・夕5回/週)、身体介護30分未満(昼5回/週)、訪問介護1時間未満/日(週1回)、訪問入浴(週1回)、福祉用具の貸与(車いす、介護用ベッド、床ずれ防止用具など)
〈上乗せサービス〉身体介護20分未満・深夜(週5回)

4

要介護

食事にときどき介助が必要、排せつ、入浴、着替えは全面的な介助が必要。立ち上がりや歩行が一人でほとんどできない。

介護費用例

9万2000円/月

〈公的介護保険サービス〉身体介護30分未満/日(朝7回、夕5回)、身体介護30分未満+生活援助70分未満(週2回)、訪問介護1時間未満/日(週1回)、デイサービス6時間(入浴介助付き)/日(週1回)、デイケア4時間(入浴介助付き)/日(週1回)、福祉用具の貸与(車いす、介護用ベッド、床ずれ防止用具など)
〈上乗せサービス〉身体介護20分未満・夜間(週5回)

金額は自己負担額1割を基準にした概算額です。また、市町村によっても若干、金額が異なります。

お金の準備、 どう備えればいい？

まずは「つかえる」お金を把握しましょう

今後の資金を考えるためには、今ある資産を把握し、それをどう使うのか。つまりマネープランを立てることが大切です。例えば、本当は余裕があるのに無理な節約を続けたことで体調を崩した、なんてことになっては本末転倒。介護に必要な予備のお金を残したうえで毎月使えるお金を見える化すれば、不安なくお金が使えるようになります。

個人に合わせたライフプランシミュレーションができますので、ぜひご活用ください。

例えば生活費の口座に毎月自動的にお金を振り替えるようにすれば、管理も楽です。そのほか、運用しながら自動的に引き出しができる金融商品もおすすすめ。りそな銀行では

高齢夫婦の場合、平均的に5.5万円程度^(※1)の預金取りくずしが必要といわれています



100歳までに必要な金額は？^(※2)

運用利回り	75歳～100歳まで	80歳～100歳まで
0%	1,650万円	1,320万円
2%	1,298万円	1,087万円

25年で352万円減！
20年で233万円減！

運用しながら引き出す仕組みで必要なお金を減らせる可能性も！

※1 出典：第21回市場ワーキンググループ 厚生労働省資料

※2 1年を12等分、各期末支払、各期運用利回り／12で複利運用



ケース別 おすすめマネープラン

ケース

2 利便性で住み替え派

毎月の元本返済がない借入で住み替え資金を調達できます

便利な場所に自宅を買い替える場合もまとまった資金が必要になるもの。そんな方におすす

ケース

1 できる限り自宅派

ファンドラップで生活資金の計画を立てやすくなります

自宅で生涯暮らそうと決めている場合は、100歳まで長生きしても安心な資金計画を立てることが大切です。そこでおすすすめしたいのがりそなファンドラップ。いざというときに備えて運用しながら一定額を定期的に換金し、普通預金に入金する仕組みが作れるので生活資金にあてることができます。

教えてくれたのは



宮下直哉さん

みやした・なおや
りそな銀行
ライフデザインサポート部
資産承継アドバイザー室
入社以来、営業店、本部でシニア向け渉外、コンサルタント、社員研修講師として活躍。好きな言葉は、「前へ」。

万が一に備えてお金を「まもる」ことも大切

病气や入院などいざというときに本人の代わりに家族が銀行窓口に行っても、お金が引き出せないのをご存知ですか？ さらに認知症になると、本人であっても預金の引き出しや証券の解約、自宅の売却などもできなくなるので、いざというときに「お金がない！」ということにも。

手続きができないことも。

そんなときに安心なのが代理人が引き出すことのできる信託の利用です。医療費・介護費などは家族が請求書や領収書などを見せれば引き出すことができます。

また窓口でしか手続きできないため、昨今の高齢者を狙った詐欺からも「まもる」ことができます。なお日常生活費については代理人キャッシュカードを使えば、もしもそのときも生活費は家族が代わりに引き出せるので安心です。

相続を争族にしないために！

将来に「つなぐ」ための対策を立てましょう

相続に備えてお金や不動産の分け方をきちんと決めておくことも大事です。遺言を作成したり、あらかじめ生前に分けておくこともできます。

● 遺言信託

お金だけでなく不動産など資産の行き先を決めることができます。家族以外へ遺贈したい場合にもおすすです。

● 贈与型保険

子どもや孫に毎年暦年贈与ができる保険で、財産の合計額が基礎控除額の110万円以下なら贈与税はかかりません。贈与契約書の作成や振込の手間が省けるほか、贈与したことを証明できるのもポイントです。

あなたのライフプランから理想の資産管理まで

りそな銀行にご相談ください

お問合せはお近くのりそな銀行まで

りそな銀行 店舗

検索

<https://www.resonabank.co.jp/kojin/tenpo-atm/>

→こちらからも店舗をお探しいただけます



ケース

3 元気なうちから施設派

資産を分散したままにするのはNG
銀行口座は2、3社にまとめましょう

長い人生の中で資産はあちこちに広がっているものです。将来の手続きが大変になるので、施設に移る際は不要な資産を処分したり、銀行をまとめたりしましょう。ネット銀行などは通帳もなく存在を見落としやすいもの。相続手続きをスムーズに行うためにも分かりやすい形にしておきましょう。

めなのが購入する自宅を担保に融資が受けられるりバスモーゲージです。年金収入のみの方でも借り入れでき、元本は亡くなった際に一括返済であるため、毎月の支払いは利息のみとなり生活資金に余裕がもてます。

何が分かる？ 見たらいい？ 施設見学の内容とポイント

伺ったのは

長谷工グループ
ブランシエール王子



同じ施設内に自立フロアと介護フロアがある有料老人ホーム。施設内だけでなく、地域との交流ある暮らしが特長。
(東京都北区王子)

ハルメク読者が
体験！



左から
大西裕子さん 宇多かな子さん 野村和子さん

「ハルメク」とは、雑誌全体で部数No.1*
を誇る、50代以上の女性に圧倒的人気
の生活情報定期購読誌。

*2023年11月現在
(2023年1月～6月 日本ABC協会 雑誌発行者レポート)

私がお案内
いたします。



10時 現地に集合 全体説明



見学の流れや施設の概要、周辺
環境など、施設での暮らしにつ
いてざっと説明を聞きます。



フロントでお出迎え。

長谷工シニアウェルデザイン
入居相談員
西野 草太さん

10時35分 人気の体操教室に参加



時間や日程が合えば、アクティビティな
どのイベントに参加できることも。「実際
に体験できると、暮らしている人の雰
囲気もわかっていい」と宇多さん。

「また、「この施設おすすめ
よ」など、入居者が積極的に
話かけてくれるところはいい
施設が多いですね」と畠中さ
ん。「できれば施設長には話
を聞いておきましょう。看取
りの有無や実際の様子など
のほか、運営の考え方を聞
くことで、自分がしたい暮ら
しと合った生活が送れるかを
確認できます」

まずは雰囲気や施設に見
学に行く際に「細かなチエツ
クは不要」と畠中さん。「初め
から細かなチエツクをしよう
と思うと、チエツクすることに
意識がとられてしまいがち。
大切なのは、生活したときの
イメージをもつことです」。
まずは暮らしのイメージをつ
かむことが大事。「同じ施設
を再度見学してもよいですし、
体験入居ができる施設も多い
ので、まずは軽い気持ちで見
に行くのがおすすめです」
(畠中さん)

まずは雰囲気や施設に見
学に行く際に「細かなチエツ
クは不要」と畠中さん。「初め
から細かなチエツクをしよう
と思うと、チエツクすることに
意識がとられてしまいがち。
大切なのは、生活したときの
イメージをもつことです」。
まずは暮らしのイメージをつ
かむことが大事。「同じ施設
を再度見学してもよいですし、
体験入居ができる施設も多い
ので、まずは軽い気持ちで見
に行くのがおすすめです」
(畠中さん)

*施設での生活の様子は2020年1月時点のものです。
現在は感染症対策にも十分配慮した運営が行われています。

介護が必要にならないと
施設に入居
できないの？

検討は早めが おすすめ！ 元気なうちから 入れる施設も あります



施設の入居には介護認定が必要でないところもあります。今回見学した老人ホームもそのひとつ。「お元気な方向け（自立型）のフロアと24時間介護が必要な方（介護型）のフロアに分かれた施設なら、将来介護が必要になったときにフロアを移動していただくだけ。見知ったスタッフが近くにおり、そのまま安心して住み続けていただけます」（西野さん）

ライフステージに合わせた暮らし方

自立期

「普段の生活には干渉せず、快適にお住まいいただくためのサポートをします。外出外泊も自由です」

要支援期

「生活の一部で援助が必要になればスタッフのサポートや介護サービスを組み合わせて態勢を整えます」

住み替え

要介護期

「24時間の見守り、生活の介助、食事、健康管理など、一人ひとりの状態に合う介護サービスを提供しています」

「元気なうちから入居すると、生活の記録が引き継がれスタッフの理解も深くなります。介護や認知症といった生活の小さな変化にも気づいて対応してもらいやすくなるのもメリットです」（西野さん）



11時15分 いよいよお部屋見学！



介護度が上がった場合に暮らす介護フロアも合わせて見学します。

「思っていた以上に広い」と驚くみなさん。ご夫婦や姉妹など二人でも暮らせる十分な広さがありました。

12時10分 昼食を試食



ランチは長生きの秘訣といわれる肉たんぱくをしっかりと取り入れたメニュー。「食事は1日あたり2,335円（税込）ね」としっかりと確認する大西さん。

11時30分 共用部もしっかり確認

大浴場を見学しながら、「お風呂の掃除をしなくていいのは嬉しい」と野村さん。



玄関ポストまでしっかりと確認。「カギを当てると自分のポストが開く仕組みで取り違い防止になっています」（西野さん）



12時40分

施設長も交えた質疑応答



施設長の考えをしっかりと確認する3人。「入居者同士の交流だけでなく他世代と交流できるよう外部交流に力を入れています」（支配人・佐野浩一さん）

今回、雑誌「ハルメク」の読者モニター3名に施設見学を体験していただきました。見学中、「マンションみたいな暮らしなのに、安心感があるんですね」と大西さん。「今すぐにでも入りたいぐらい」とも。これまで何度か施設見学をした経験があるという宇多さんは「施設の印象が大きく変わった」と言います。「実際に見ると、施設も真剣に考えたくなりますね」と野村さん。みなさん、「自分の将来設計を考えるよいきっかけになりました」と言います。

見学で施設のイメージが
がらりと変わる

私たちは自立型施設を選びました

「将来の不安がなくなり、人生の先輩を見て前向きになれる。ここにきて、毎日が充実しています」

大塩 与志雄さん(73歳) 静子さん(73歳)ご夫婦

元気なうちに引越したい
70歳が決断の時でした

50歳を過ぎた頃から、将来は安心して暮らせる住まいに、と話していたという大塩さんご夫婦。「私たちには子どもがいないので、何かあっても頼れる人がいない。だから、一軒家の処分も引越しも、元気なうちにしかできないと思っていました」と静子さん。本格的に移住を考え始めたのは70歳だったと与志雄さんは言います。「定年後、家の庭いじりに凝っていましたが、70歳を過ぎた頃から次第に苦になってきて。そろそろ本格

大塩さんの / 楽しみ 1

サークル活動

「毎週木曜日は太極拳、金曜日は体操と意外と忙しいんですよ(笑)」と与志雄さん。「入居者のみなさんや地域の方と一緒に何かすることが多くて、すごく楽しいです」(静子さん)

「最初は難しかった」という与志雄さんも今ではこの通り。



先生からの指導中。「太極拳はいつも楽しみ」と静子さん。



的に検討したいと思ひ、施設見学に行きました。「絶対新築！」と静子さんが思っていたところ、たまたま見つけたのが長谷工グループのブランドシエール新所沢。「日当たりもよく、お部屋も気に入って、その日に即決しました」

安心感があるのはもちろん
ますます元気になれる

ホーム暮らしでいちばん変わったのは安心感が生まれたことだと静子さんは言います。



「なにがよかったって、二人の時間が増えたことですね」(与志雄さん)「毎日二人で散歩して、映画を観たり、おいしいものを食べたり。とても幸せです」(静子さん)

「今は元気でも、年をとりますといろいろ体に変化が起きますので。他の入居者さんから『倒れたときにすぐにスタッフさんが来てくれた』なん

大塩さんが施設を選んだ理由

理由

1

住まいへの こだわりと合った

「運営母体もしっかりしていますし、なにより家内が部屋を気に入ったので」(与志雄さん)。「南側で日当たりもよく、お部屋にいろいろ飾れそうでしたから。でも、いちばんのこだわりは新築なんです(笑)」(静子さん)。

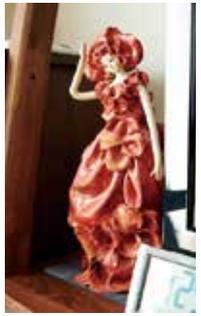


大塩さん宅のリビングルーム。

フランスで描いてもらった現役時代の与志雄さん。



静子さん制作の人形や陶芸。賞をとった作品も。



理由

2

施設のスタッフが 気に入った

「入居相談の方やハウス長から説明を受けて、とても誠実さを感じました。この人だったらお任せしても大丈夫だと思って」(与志雄さん)。「安心感があつたので、見学したその日に決めました」(静子さん)。



石田広太ハウス長と。「人柄がいいから入居者のみなさんから人気なんですよ」(静子さん)

理由

3

安心できる 気配りがあつた

「フロントにはいつもスタッフの方がいますし、何かあったら部屋に来てくれる。いつも目配りしてくれる安心感がいちばんですね」(静子さん)。「今は、本当にいろいろな不安がなくなりました」(与志雄さん)。



入居者の安全を確認するボード。さりげなく見守る工夫です。

ふだんから声をかけてくれる安心感があります。



大塩さんの /

楽しみ 2

食事

週に2回は利用するという食堂でのランチ。「お魚のときはなるべく利用します。部屋で魚を焼くにおうし、グリルを洗うのが大変だから」と静子さん。「ここで食べるさばの塩焼きやカレイの西京焼きがおいしくて、大好きです」



ごはんは自分でよそうスタイル。「家庭的で気に入ってます」

「栄養士さんの献立だから、健康に配慮できて嬉しいですね」



※年齢や施設での生活の様子は2020年1月時点のものです。現在は感染症対策にも十分配慮した運営が行われています。

という話を聞くと、やっぱり安心できるなと思いますね」
また、自立型ならではの良さもあるのだそう。「90歳を超えたおばあちゃまがいらっしやるんですけど、スタッフの方にすごく感謝をして、いつもニコニコしていらっしやるんです。毎日2回ラジオ体操をされているとか、元気の秘訣も知れて、すごく勉強になります。ああいう心持ちで元気で暮らしたら、幸せですね」(静子さん)。

ライフプランや資産管理については りそな銀行にご相談ください

お近くの店舗はこちらから

りそな銀行 店舗

検索

https://www.resonabank.co.jp/kojin/tenpo_atm/

→ こちらからも店舗をお探しいただけます



[投資商品に関するご注意事項]

○元本保証のない投資商品は、相場環境等の変動を原因として、損失が生じ、投資元本を割込むおそれがあります。また、外貨預金は為替手数料により投資元本を割込むことがあります。○投資商品、保険商品は預金ではなく、外貨預金を含め預金保険対象外です。○お申込時、保有期間、解約時など、商品ごとに所定の費用がかかります。また手数料等により投資元本を割込むこともあります。商品ごとに手数料等は異なります。○各商品の手数料・リスク等の詳細については、各商品の「契約締結前交付書面」や「説明書」等を必ずご確認ください。○あらかじめお客さまの投資の目的、リスクについてのお考えをお伺いいたします。お客さまの投資目的、リスクに合わない場合は、ご希望の商品を提供できないこともありますので、ご了承ください。

商号等：株式会社りそな銀行 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第3号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

[生命保険に関するご注意事項]

○生命保険の具体的な商品説明、勧誘を行う場合は、お客さまに法令上のご同意をいただく必要があることをあらかじめご了承ください。○ご契約いただく際は、「契約概要・注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」等を必ずご覧ください。○りそな銀行は生命保険の募集代理店であり、保険契約の引受けや保険金等の支払いは引受保険会社が行います。○引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構により保護の措置が図られますが、ご契約時にお約束した保険金額、給付金額、年金額、解約返戻金等が削減されることがあります。また引受保険会社の業務または財政の状況の変化によっても、ご契約時にお約束した保険金額、給付金額、年金額、解約返戻金等が削減されることがあります。○保険商品に加入いただくか否かが、りそな銀行における他のお取引に影響を及ぼすことはありません。○法令上の規制に基づき、お客さまの「お勤め先」や「りそな銀行への融資のお申込状況」等により、保険商品をお申込みいただけない場合があります。また被保険者となる方の健康状態等によりご契約いただけない場合があります。

[遺言信託に関するご注意事項]

○審査によりお申込みの意に添えない場合がございます。

○所定の手数料を申し受けます。詳細についてはパンフレット等にてご確認ください。